

ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース08年1月号
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL&FAX 047-445-9144
E-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ <http://e-kamagaya.com/>



市議会議員
ふじしろ政夫

“希望”の市民自治をつくりましょう

三位一体は地方分権ではなかった…

2000年地方分権一括法の実施以降、各地の自治体は自立への道を模索し、努力を重ねています。しかし、“三位一体”の改革、“構造改革”の実態は、2008年の今、単なる国の経費削減策でしかなかったことが明らかになりました。

本来、三位一体とは・地方への税源移譲・不要な国庫補助負担金の廃止と削減・地方交付税の見直しが同時におこなわれ地方の財源を確保するものでなければなりません。ところが、政府は3兆円程の税源を移譲しましたが、国庫補助負担金を4.7兆円、交付税を5.1兆円削減、この間都合6.8兆円程、地方自治体への財源を抑制したのです。

これまでも60%以上の仕事を地方自治体がおこなっているにもかかわらず、40%の財源しかない状況があったわけです。そこにさらに6.8兆円の財源を中央に吸いあげてしまうことが、なぜ地方分権なのでしょう？ 地方自治の為には根本的に解決しなければならない課題です。

鎌ヶ谷市においても、この数年間で差引約17億円の財源抑制が課せられました。とはいえ、日々生活する住民へのサービスはまったなしです。2008年度の予算編成の為には12億円の財源不足が生じてしまっています。人件費を含めて、全ての事務・事業を0から見直す作業が必要となっています。

鎌ヶ谷市にとって最も重要なもの、これからの鎌ヶ谷市が歩むべき道をはっきりと示すことで希望の道筋を明らかにしましょう。

自治体の役割は、そこに住む人々の生活を豊かにすることです。一人一人を大切にす福祉のまち。高齢者も障がい者も子供も安心して暮らせる地域医療と看護と介護のトータルケアの必要性。生物多様性＝地球温暖化対策の為にも持続可能な自然の保全と再生が必要です。

何よりも自治の街をつくりあげなければ、市民は未来に希望をもてません。将来への希望の芽は育てなければいけません。すべてその芽を摘んでしまえば、行財政改革は絶望の削減策となってしまいます。

希望の市民自治をつくっていきましょう。

“児童と高齢者との交流の福祉”を廃止する

「初小デーサービスセンターの先導的役割は終わった。」
「民間のデーサービスセンターがたくさんあるから初小で現在おこなわれているデーサービスをやめて、その経費750万円を削減します。」という議案が可決しました。(12月議会議案第5号)

平成10年から、学校施設を生かし、児童と交流のできる、又豊かな福祉を創っていただける場として始まりました。全国からも注目されています。これからの福祉では、高齢者も子供も障がいのある者も、みな共に暮らしていただける地域の小規



初小デイサービスセンター

模多機能なサービスが求められています。その貴重な方向性をもつ初小デーサービスです。

300人以上の市民が署名をもって市長に「初小デーサービスセンターを廃止しないように」と要望しました(12/11付)。

しかし、12月議会で議案は賛成多数で可決しました。交流の意義は認めるがお金の方が大事という鎌ヶ谷市の福祉はどの方向にいくのでしょうか？

人件費もカット

12月の議会で、特別職の期末手当、一般職の期末手当、勤勉手当を減額することを決めました。議員の期末手当も同様に減額することを決定しました。(議案14号、発議案1号) 財政効果は約4,400万円です。

ふじしろ政夫の一般質問

☆インクルージョン(包括)教育を求めて

東松山市は、就学支援委員会を廃止し、「就学判定」をやめました。障がい児の保護者の選択にまかせることにしました。



障がいのある人もない人も、その生活する地域で、通常の学校で、共に学ぶ、インクルージョン教育が求められています。'94年ユネスコのサラマンカ宣言で、そして昨年国連で採択された「障がいのある人の権利条約」で、はっきりと「障がいのある人が障がいを理由に、一般教育制度から排除されない」「インクルージョン教育へアクセスできる」と規定されています。鎌ヶ谷市の障がい児教育はどうか質問しました。

「基本的スタンスとしては、インクルージョン教育を求めていくこと、必要なことです」との答弁でした。共に学び、共に暮らしていく社会をつくってきたいものです。

ノーマライゼーション社会の為、インクルージョン教育が必要です

生涯学習部参事：鎌ヶ谷市は、障がいのある人が、一般社会の中で普通の生活が送れる、“ともに生きるノーマルな社会”を求めています。その為には、インクルージョン教育が必要です。

就学指導は強制でなく、保護者の選択権があります

生涯学習部参事：本市は、保護者の意向を十分にふまえて、就学相談を行っています。保護者の判断にまかせる東松山市と、ほとんど変わらないと考えます。

特別支援学校(養護学校)の分校を推進・要望していきます

生涯学習部参事：船橋市の「高根台第一小学校」が特別支援学校となります。県、国の動向をさぐって分校化を前向きに考えていきます。

インクルージョン教育へ向けて、特別支援教育(室)を発展させる

ふじしろ市議：軽度発達障がい児は、普通学級に籍をおき、特別支援教室で、個々のニーズにあわせた支援をうけます。インクルージョン教育への方向にむかって成果を十分生かしてもらいたい。



生涯学習部参事：障がい児教育だけでなく、“いじめ”問題で、差別をしない子を育てる為にも、インクルージョン教育が必要と考えます。

☆河川の水循環・水質浄化の必要性

鎌ヶ谷市は、手賀沼、印旛、江戸川、各水系の分水嶺に位置します。私達のまちが、水系の最上位として水循環、水質浄化にどう責任を果しているのか、質問しました。

“河川法”は「治水」「利水」「河川環境の整備と保全」の三つを目的としています。水循環、水質の浄化、多自然型川づくりを求めていくという観点から、河川課も環境課も市民と共に努力していくとの答弁でした。

河川環境整備の為には、多自然型川づくり、水循環、水質浄化、景観を

ふじしろ市議：河川法の目的に「河川環境の整備と保全」があります。鎌ヶ谷市の河川もこの目的の為に多自然型、水循環、水質浄化等が必要ですね？

土木部長：そのとおりです。

根郷川は、自然浄化による効果で基準値をクリア

市民部長：根郷川戸崎橋下がBOD4.7mg/lと基準値以下なのは、自然浄化による効果があるのでは…。



ふじしろ市議：他の河川の水質浄化の方向をさぐる為にも、なぜ水質がよいのか調査をすべきですが。

市民部長：タイミングをはかって調査します。

グリーンハイツの浄化施設の機能をもっと良くすれば、水循環に多大な寄与

ふじしろ市議：グリーンハイツの污水処理特定施設は「BOD30mg/l以下とのこと。新設基準の10mg/l以下にするならば、水循環のうえからも多大な寄与があるのでは？

市民部長：そのとおりです。

市民の活動へ、環境課も、河川課も協力へ

ふじしろ市議：白井市、戸田市、千代田区などでは、EM団子で河川の浄化活動をする市民を応援しています。川口市の旧芝川のドブ川を浄化する活動にも行政が協力しています。市民による河川の浄化の為の活動に、河川課も、環境課も協力していきますか。

市民部長・土木部長：協力していきます。

大津川に“サケ”が遡上！

大津川下橋周辺で、サケを見たとの連絡あり(12/16)。「大津川をきれいにする会」中村会長さんは、さっそく現場へかけつけ、サケを確認したとのこと。以前から大津川第二小学校の児童が、稚魚を放流していたのが、利根川経由で帰ってきたのでしょうか…大津川水質浄化の市民活動がみのりつつあるのでしょうか。夢はふくらみます。



公の施設使用料見直し

スポーツ施設、学習施設などの使用料の見直しがされました。(議案第2号)

・受益者負担の原則の徹底化、・使用料算定根拠の確立と公開、・施設の充実と利用者拡大策を基本的考えとして、改訂されました。

例えば、まなびプラザ会議室の場合1時間100円を200円に、市営野球場1面(2時間以内)1050円を2000円にといった具合です。平成20年4/1から実施です。

算定方法は、コストに稼働率50%と受益者負担率50%を加えて、単価を出しています。



まなびプラザ

受益者負担と公共サービスのバランスを失わないよう市民の声を目を向けていきましょう。

沖縄の心を……共に！

「沖縄戦における集団自決は、日本軍隊の強制によるもの」といった歴史的真相を、ねじまげた文科省の検定意見＝“軍の関与なし”に対し、全県民の1割以上(11万人)の人々が集まった'07/9/29の宜野湾市の抗議集会から3ヶ月がたとうとしています。

高校日本史の出版社は、以前の記述にもどす修正案を出してきましたが、文科省は「軍の命令」を明記しないよう求めています。いまだに、姑息にも「検定意見を撤回することは政治的介入になるので出来ない」と言っています。

沖縄の心にふれたくて11月「反戦・平和の旅」にいいてきました。

ひめゆりの塔と平和祈念館で沖縄戦のスゴサを感じ、ゾウのオリのあった読谷村では知花昌一さんに集団自決をした人々の遺骨があるチビチリガマなどを案内してもらいました。大阪府と同じ位の密集地にある普天間飛行場の位置する宜野湾市では、伊波市長から飛行場の早期閉鎖、全面返還の熱い思いを聞くことができました。そして体を盾に基地建設を阻止している辺野古の人々と、ヘリパット建設に反対しているヤンバルの森・東村高江の人々とも連帯の誓いをしてきました。



ジュゴンが泳ぎ、きれいな青い青いサンゴの海・辺野古は、米軍基地キャンプシュワブが占拠しています。これ以上何故米軍に貢がなければならないの

でしょうか。米軍嘉手納基地の大きさを見るにつけ、沖縄の人々の心の奥底にあるものが何であるか、少し分ったような気がしました。

沖縄戦で多くの親族を失い、その後は米軍基地として占拠されている日々。戦争の本質、軍隊の本質を、ハダで感じているのでしょうか。

私達本土の市民も、沖縄の心を共有し、それぞれの場で「人間としての声」をあげていく必要を感じました。(F)



知花昌一さんに聞く

地方自治と議会



前我孫子市長 福嶋浩彦さんによる『地方自治と議会』についての講演会がありました。

福嶋さんは「市民が出来ることは、市民の権限でやっていく」「市民から最も近いところで市民がコントロールすることが地方自治の意義なのです」と自治の基本について論じました。又、単なる官から民ではなく、「大きな公共」を自立した市民と、市民のコントロール下にある行政が連携してつくりあげていくことこそが、本当の意味での「新しい公共」ではないだろうかと言及しました。そして総務省の言う“新しい公共”は官の下請けでしかないと批判しました。

さらに具体的に、我孫子市で実施した1100以上のすべての事務・事業を見直した例をあげて、市民参加、民間活力の際の注意点を次のように指摘しました。

「民間がやれることと、行政がやらなければならないことを、“コスト”でなく“市民の利益になるかどうか”を基準にして決定していく必要がある」と。

最後に、行政への市民参加だけでなく、議会への市民参加として、

・重要な議案を市民のタウンミーティングをやって議決していく。・陳情、請願の提出者に議会で発言してもらう。・議員立法する過程で市民の意見を聞いていく。・市民の合意を議会で形成する為に、議員どうして自由に討論するといった例が語られ、真の自治をつくっていくには、議会自身はその責任を荷負わなければ実現できないと、議会の重要性が語られました。

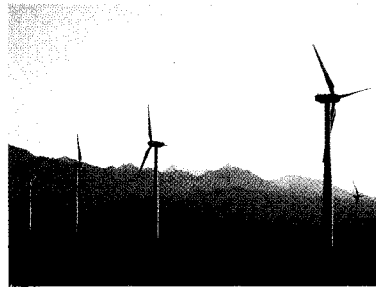
栗山町の「議会基本条例」のように動きだした自治体もあります。

議会(議員)の主体的な自治形成への努力の必要性を強く感じる講演会でした。

中国環境視察雑感

'08/11月21～27日、中国の環境視察に出かけた。大学院の同窓生が新疆における風力発電のCDM（クリーン開発メカニズム）事業に携わっていることからそのサイトを見に行くことが発端であった。めざましい経済発展を遂げる中国は、一方では大気汚染・水汚染を始めとする環境汚染が重大な問題となっている。今回訪ねたウルムチ、杭州、北京、上海のいずれも空はスモッグで曇り特有の匂いが鼻を衝く。高度成長期の日本を髣髴とさせる。世界最大の三峡ダムには多くの批判があるが、今回訪れた浙江省環境科学設計研究院で推進している環境保全に配慮した「小水電」という省水力発電は注目すべきものであった。

現地企業の、人民政府経済委員会、大学等と意見交換をしてきた。わが国は、公害対策では国際的にも相応の評価を得ていることに鑑み、この技術、政策、法制などをより積極的に提供することがグローバルな温暖化対策の面でも有効であろうことを実感してきた。



(篠崎仁)

積極的に提供することがグローバルな温暖化対策の面でも有効であろうことを実感してきた。

野馬土手めぐり PART II

(7) 東武野田線おおたかの森駅の北

流山市豊四季霊園の南側。霊園の塀に沿った道路の外側に、高さ1m程の低い土手が約200m続いている。

更に進んで、つくばエクスプレスの下を潜り坂を登った処のふくろう公園横に、観光協会の『オランダ観音と野馬除土手跡』の案内掲示板がある。

この土手は公園脇の道路沿いに在り、高さ1～2m長さ約150m。また土手の北側にオランダより輸入されたアラビア馬の死を憐れんで建立されたオランダ観音が在る。

(鈴木喜久次)

※小金中野牧の国史跡指定一周年

「野馬のいた風景」現地見学会&シンポジウム

3/22(土) 中央公民館



『PAC-3は分らないけど』

ミサイル配備はよいことだ???

パトリオット習志野基地への

配備中止を求める陳情を否決

「アメリカのミサイル防衛構想の一翼を荷うPAC-3の配備は、周辺住民の生命と財産を守ることにならない。」「6兆円もかかるミサイルの配備を止めるよう国へ意見書を出して下さい」といった陳情が12月議会に出されました。(陳情者 岡崎茂夫さん)



しかし、議会では“PAC-3についてよく分らないけど、スクランブル体制を考えると安あがりだ” “北朝鮮などを考えれば、ミサイルを配備しなければならぬ”という意見の下、陳情は不採択となりました。ふじしろ政夫はパトリオットの配備を中止すべきと陳情に賛成しました。

まちかど情報

鎌ヶ谷大仏は鎌ヶ谷の心



木下街道に面して座す鎌ヶ谷大仏を今一度見直しましょう。

江戸時代に造られた文化的にも価値の高い鎌ヶ谷大仏(市文化財指定第一号)。

大仏さまの歌も出来ました。ストラップも出来ました……大仏交差点事業では、大仏さまの前の歩道も3.5mと整備される予定です。歌にひかれて大仏さまに会いにきた若いカップルの目に入るのがゴミ置き場……ゴメンナサイ

ふじしろ政夫の市政報告会

1月27日(日) 13:30～

まなびいプラザ

- ・12億円の財源不足をどうするのか?
- ・行財政改革と鎌ヶ谷のまちづくり

○自主講座「市民自治」開講します

前我孫子市長 福嶋さんとともに自治を学ぼう
第1回 1月23日(水) 18:30～
“市民自治の可能性”

中央学院大学 6号・622教室(我孫子駅北口から歩20分)
年間受講料 市民 5000円(1回のみは1000円)

○「憲法9条改定をめぐる最近の動き」

高田健さん講演 2月2日(土) 14:00～
船橋フェイスビル6階 きららホール(無料)

○津久井市政報告会

1/20 13:30～ まなびい

○泉市政報告会

2/3 13:30～ まなびい

きょうどう事務所 トライ・案内

□法律無料弁護士相談一要予約一ふじしろ市議まで

1/19(土) 2/23(土) 3/22(土) 13:00～

□音楽会 毎週 金曜日 13:00～

□数学教室 毎週 月・火曜日 19:00～